

【1】

ともしび²⁰¹⁵



二月最初の午うまの日を「初午はつうま」といつて、この日はお稲荷様いなりさまを祀まつる各地の神社やお寺で縁日が開かれ、多くの参拝客で賑わいます。

お稲荷様は元々「稲生いななりの神」、つまり豊作の神として大切にされてきましたが、仏教の守り神であるダキ二天と習合したことで、今日では広くお寺でもお祀りされています。

この初午の日には、古来よりいなり寿司を奉納する「初午いなり」の風習があります。ちなみにいなり寿司が供えられるようになったのは、「お稲荷様の使いである狐に色が似ているから」、「ご飯を詰めた形が米俵に似ているから」など多くの説があります。

「さては狐か、あるいは俵か...」。次にいなり寿司を食べる時には、由来を想像しながらつまんでみるのも、また楽しいのではないのでしょうか。

〈佐田 陸道〉

ともしび法話会の思い出



今月をもちまして、日比、中野、松葉の三名はともしび法話会を卒業することとなります。そこで今回は卒業する三名に三年間の思い出についてインタビューをしました。

〈初めて法話会に参加した時の印象はどうでしたか？〉

中野 とにかく緊張していました。

日比 四月の花祭りの法要だったね。歌を歌って皆さん一人一人と握手をしてもらったね…。

〈何を歌ったか覚えていますか？〉

松葉 私は童謡の「ふるさと」でしたね。

日比 松山千春さんの「大空と大地の中で」を歌いました。

中野 私は「涙そうそう」でした。皆さんにも一緒に歌ってもらえるような歌を選んだつもりだったので…。

松葉 「みんな選曲が若いね」と言われました。

〈この三年間で特に印象深かったことは何ですか？〉



松葉 色々あり過ぎて、どれを話したらいいのか。

日比 レクリエーションが楽しかった。法話会に入

って最初に担当したことが、レクリエーションの準備でした。

〈盆踊りなんかやったそうですが〉

中野 やりました。あと、落語もやりましたね。

『目黒のさんま』を私と松葉さんの二人で。

松葉 やっている自分もとても楽しかったです。

日比 あと難しかったのが、毎回最初に行く挨拶。

松葉 いろんなことを話そうか、実はその日の朝考えていたりもしました。

〈この三年間で学んだことは何ですか？〉

日比 法話会が終わった後、参加者の方から「今日の法要は〇〇さんのことを心に思いながら手を合わせました」と言われ、法要に臨む気持ち

松葉 話がする時も、相手のことを考えないといけませんし、自分が話したいことと相手が聞き

たいことが違うということもあります。たまに

予想外の質問が飛んで来ることもありました。

中野 それもまた勉強ですね。

日比 でも、皆さんが話を聞いて頷いてくれたり、相槌をうってくれたりすると、とても嬉しかったです。

〈今後の抱負を教えてください〉

中野 東京での勉強と福島のお寺での活動を頑張っていきたいと思います。

松葉 私は東京で曹洞宗についてもっと勉強します。

日比 私も同じです。

〈最後に施設の皆さんにメッセージをどうぞ〉

三人 皆さんとお話するたび、様々なことを学ばせて頂きました。三年間、お世話になりました！

ともしび法話会

日比 博英
中野 孝海
松葉 裕全

合掌

私の

ふるさと



第二十七回 スクランブル交差点



とおりちようすじ
通町筋を行き交う人々

東京の象徴の一つといえば、渋谷のスクランブル交差点。その発祥は、実は熊本にあります。

昭和四十三年、日本で初めてのスクランブル交差点が熊本市子飼^{こかい}交差点にできました。当時、ここは熊本市の中心部で、夕方になると買い物に出かける主婦や下校する学生などで大変混雑していました。それを緩和するために、スクランブル交差点は誕生したのです。

今では通町筋^{とおりちようすじ}というところが発展し、第二のスクランブル交差点ができています。大通りの突き当りには熊本城がそびえ立ち、左右には上通商店街^{かみとおり}、下通商店街^{しもとおり}というアーケードが広がり、現在でも休日、平日問わず、大きな賑わいを見せています。

私の故郷も同じ熊本県ですが、私の生まれ育った故郷はとても田舎です。幼い頃、初めて見た通町筋に目を輝かせていたことを今でも憶えています。

〈むらかみ 光龍〉

〒105-8544 東京都 港区 芝 2-5-2 曹洞宗宗務庁内
曹洞宗総合研究センター 教化研修部門 一般教化課程
ともしび法話会

TEL 03-3454-6844 FAX 03-3454-7180

2015(平成27)年 2月1日発行 第392号